



学校だより

3月号 (第199号)
令和6年2月29日発行
横浜市立並木中央小学校



いじめをしない強い心をもつ

校長 齋藤 由美子

「ピンクシャツデー」の朝、子どもたちを正門で待っていました。ピンク色の服や靴下、ハンカチ、ピンクの差し色のある小物を付けて登校する姿。「今日は、ピンクを着てきました。」と満面の笑顔で言う子、少し恥ずかしそうに上着をめくってピンクの服を見せてくれる子、だまってピンクのハンカチを握っている子。「ピンク色の物を、忘れました。」「うちにピンク色の服はありませんでした。」素直に、そう言ってくれる子どももいました。私からは、「ピンク色がなくてもいいのよ。心で、いじめはしないという気持ちが大切。」と伝えました。

「ピンクシャツデー」の始まりは、カナダの男子学生がピンクのシャツを着てきたことをからかわれ、いじめにあったことからです。それを知った2人の上級生が「ぼくらはピンクのシャツを着て、いじめをやめさせよう。」と提案すると、翌日、他の生徒たちがピンクのシャツや小物を身に付けて登校し、それが、いじめストップにつながったということです。これが世界に広がり、2月最後の水曜日は、世界180か国で、いじめストップのキャンペーンになっています。

本校は、年間を通して、子ども人権委員が中心となって「優しさの輪を広げよう」を合言葉に、学級の中で友だちからもらった優しさを♡のカードに書いたり、「いじめをなくそう」の動画を制作し、みんなで見て考えたりしてきました。時に教師が主導し、時に子どもたちの主体性を活かしながら、友だちを大切にすること、いじめをしない心の教育や取組を継続してきました。一方、だれの中にも、いじめの心はあるものとも思っています。だからこそ、私たち大人は、子どもたちが意地悪をしたくなる弱い自分に負けないよう、いじめをしない強い心、人のために尽力する優しい心が育つよう、さらに見守り・協力していく必要があると思います。

今月19日には、第18回卒業証書授与式が予定されています。6年生の保護者の皆様、お子さんたちが本校で身に付けた力を、今後もさらに高めていくことを教職員一同、心より願っています。そして、6年間の教育活動へのご理解・ご協力に心より感謝いたします。ありがとうございました。